



ヤギ「未来創造プロジェクト」と類設計室による「探究学習×事業」の成果発表会を開催

これまでの授業と体験を通して
生まれた「All fibers are reborn」

ヤギ「未来創造プロジェクト」と類設計室による「探究学習×事業」の初回授業から約4ヶ月。これまでの成果を発表する会が開かれました。当日は類学者の生徒の皆さんを始め、類設計室の社員の方々やメディア関係者にもお越しいただき、これまで学んできたこと、学びから見出した自分達で取り組むことについてのプレゼンテーションを行いました。

成果発表会から始まるプロジェクトのゴールまでを企画・提案

学んだ成果の発表の前には、その前提となる情報として環境省が発表しているファッションと環境に関する各種データや動画を全員で視聴、共通認識を持ってから、発表の開始です。この会は成果発表だけでなく、その先にあるプロジェクトのゴールとそれを実現するためのアイデア提案の場でもありました。



発表会後はプロジェクトチームによる記者会見も



今回の授業で学んだ4人が考えた企画「All fibers are reborn」。

8回の授業の中で、当社と一緒に繊維回収から再生の取り組みを行い、「Withal」というプロジェクトを運営するアミアズ株式会社が実際に回収した衣類の分別作業を体験したり、回収した洋服を再生して作られる様々なプロダクトに直接触れてきました。発表会の最中も、様々なリサイクル製品を実際に回覧して触れていただき、リアリティを感じてもらえるような配慮がされていました。

今回、学習に参加した4人の生徒が考えたのは、自分達が洋服を回収し、類学舎独自のプロダクトに生まれ変わらせて、実際にそれらを校内で使用するというアイデアです。



発表会の質疑応答の時間には、聴講した生徒からも活発な意見や質問が上がり、時には発表会に出席していた企業側の関係者が説明対応をするほどでした。

発表会の終了後は場所を移して来場メディアによる「共同記者会見」の場も設けられました。この場では、メディア各社からの質問に4名の生徒が中心となって回答し、その内容は早速、各媒体の紙面にも掲載をいただきました。

5月から続けてきたこの学習は今回の成果発表会で一つの区切りとなりますが、類学舎でのプロジェクトはここからがスタートです。進捗については、改めてこの紙面にて紹介・レポートさせていただきます。



※今回の探究学習プログラムに参加した生徒の皆さん、アミアズ社と当社のメンバーが揃い、最後に記念撮影